

遠野嘉之氏(瀬崎林業社長、大阪市、49歳)は、父の遠野清氏(当時専務東京支店長)の入院を機に2012年に入社。杉梱包材に着目し19年に日本初の杉内航船をスタートさせるなど、積極的な新規事業展開で頭角を現した。平社員の間で業職からわずか9年でトップに就任したが、創業家以外では初の社長となる。

直輸入・直販売を徹底し、経営モットーは「顧客の声を聞く」。チリ産ラジアタ松では取り扱い国内首位だが、貴重な資源である国産材の安定供給にも注力し、山側と歩調を合わせた持続可能な木材販売を目指している。